夕刊
新京日日新聞
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社

關稅引上げで支那側の反省を要求
外務省有吉公使を通じて

〔東京廿九日發國通〕支那の關稅引上げに就き外務省では調査を續けて居たが、影響重大なので支那政府に抗議することに決定し、有吉公使に訓電を發し左の如き要旨を提出させた

貴國の關稅引上げは、日本貿易の打撃甚大で日支友交關係を阻害するを遺憾とする、反省を求む

阪西中將の來京を機とし
日滿要人の座談會を開催
協和會の主催で

坂西中將は北支方面視察を終へ去る十八日大連上陸以來、滿洲國内各地を訪問特に海拉爾、チチハル、ハルビン等各重要地に於て夫々同地の滿洲國各方面の有力者を網羅して座談會を開催、非常な好評を博したが、二十八日着京協和會主催で二十九日は主として要人を招いて座談會を開催したが、今三十日は在京日本要人を招いて座談會を開催する出席者左の如し

△滿洲國側より
筑紫參議、阪谷總務廳長、皆川秘書處長、中島執政府禮官、森田交通部鐵道司長、竹内民政部總務司長、松島實業部總務司長、星野財政部總務司長、其他軍政部、興安總署國務院の要人

△日本側より
關東軍　喜多大佐、坂田大佐、横山大佐
滿鐵部　伊藤大佐、佐々木中佐
協和會　山口次長、小山、紀伊、保々、長江各處長

尚坂西中將は三十日午後四時半新京發奉天經由五月一日大連出帆歸國の豫定

奉天に貿易館
新設案進捗

〔奉天廿九日發國通〕共存共榮と日滿貿易振興の爲めに日滿貿易陳列館設立の必要が叫ばれ嚢に林鶴泉氏が日本視察後新京に五百萬圓の資本で同陳列館を設立せんと計畫したが財源不充分の爲實現不可能となつたが奉天では實業廳が中心となり滿鐵、市政公署、商業會議所その他關係各方面で同館の設立を急いで居り日本側との連絡の爲には四月出發した商工會議所書記長が寺尾貿易局長と懇談し居り、六月上旬歸滿する筈で歸奉後右計畫は具体化するものと觀られてゐる

中東鐵道を北滿鐵道と改稱

〔ハルビン廿九日發國通〕滿洲國獨立後中東鐵道の改稱の必要に迫られてゐたが、六月一日より北滿鐵道と改稱の旨交通部より發表された

現内閣不信任の點は政友全員一致
政府絶縁は七月頃か

〔東京廿九日發國通〕政友會では、高橋藏相留任を確定し絶縁を申合せたが、局部より醒め黨内の主張を

「檢討」

して煎じつめれば、名分論の相異に過ぎず、即ち絶縁派は現内閣に根本的に不信任の名分であり、自重派は政策に依り名分を求めてゐるので、現内閣を何時までも支持出來ぬ點は、各派共一致して居り首腦部間には寄せ木細工に非ざる政黨を基礎とし之に久原顧問の政黨什同に依る擧國一致論を加味せしめ、これを天下に發表して批判を求めんとの意見漸次擡頭し、鈴木總裁の裁斷も案外早く豫算編成期前六月下旬七月始めに絶縁を發表同時に政友閣僚が總退するものと見られてゐるその場合政府では議會解散の

「決意」

を以て改造を圖らうが我黨の支援なき擧國内閣の意義を失ひ一應總辭職の他ないだらうと觀測してゐる

内田外相より外交問題につき奏上

〔東京廿九日發國通〕内田外相は二十九日午後二時參内し陛下に拜謁石井經濟會議全權と大統領との會見商議の結果、極東問題をはじめ諸般の問題につき相當の効果を與へたる顛末その他外交問題に就いて委曲奏上種々御下問に奉答四時近く御前を退下した

展望臺
國際聯盟脱退以後（五）

聯盟脱退以後、帝國に對する制裁的壓迫は表面には何れも現はれてゐない、經濟封鎖云々も一つの話題たるに止つて了つた現狀である。しかしそれは表面觀である

見よ世界は今如何に動きつゝあるかルーズヴエルト大統領の各國元首に宛てた「世界平和の確保强調に關する」聲明書は「國境を越えて武裝兵力を派遣せざること」を提唱し華府豫備會商におけるる米支共同聲明は「世界經濟の安定は政治的平靜が確立されねば遂せられない」として極東の情勢即ち日支紛爭をとりあげてゐる、又英國の軍縮案を支持せる米國代表ノーマン、デヴイス氏はアメリカ政府の軍縮政策に關する重大聲明に於て「平和組織に貢獻すべき方策の一つとしてアメリカ政府は世界平和が脅威さるゝ場合、自然他國と商議せんとするものである、平和に脅威ある場合各國が會議を開いて一國がその國際的義務に違反したりと斷定且該違反國に對する制裁手段を決定し、しかもアメリカ政府が右違反國の責任に關する各國の判斷に對して異議がなければアメリカ政府は平和回復の爲に共同的努力を妨ぐる虞れある行動を避けるであらう」と從來の中立政策を積極政策へ乘り換へたロンドン・タイムスは「アメリカがこの態度をとつた結果として條約違反者に對する制裁の組織力が斷然容易になつて來た」と評してゐる、更に近く調印されんとしてゐるムツソリーニ首相提唱の英、佛、獨、伊四國協約はその第四條に於て「本協定の調印國はヨーロツパ的たるとヨーロツパ的たらざるとを問はず一切の問題に關し出來得る限り共同的行動を執るべきこと」を約してゐる、即ちヨーロツパの四つの强國は本協定の結果としてヨーロツパの問題以外の問題に對しても共同行動をとる譯でこの點ロカルノ協定よりも積極的となつてゐる、又軍縮安全保障委員會は國際軍縮條約附屬議定書に挿入すべき五項からなる「侵略國の定義」を審議決定した

一方聯盟に於ては滿洲國不承認に關する實行對策を審議してゐる、更に經濟方面に視線を轉ずれば英國は日印通商條約の廢棄聲明に續いて西アフリカに關する日英通商條約の廢棄を通告し、またエヂプトは關稅の改正を行ひ、更に關稅休日案に於て綿布を除外せんとしてゐる、また支那は日本を目標とする報復關稅を實施し經濟對抗政策を露骨にして來た

吾々は今やその周圍になされつゝある「蜘蛛の營み」に眼をくばらねばならない、しかして世界の國々の國民が不況打開の爲にもがくことのみを知つて徒らになすところなく送つてゐた日に於て逸早く起つて不況打開の國民的コースをとりそれに成功しつゝある滿洲進出の重大意義を再認識し、日滿經濟ブロツクの完全なる達成によつて世界の嵐に備へねばならない

珠玉を碎く
禁無斷上映上演
吉井勇
（高根秀浩畫）

送別會（十一）

ウヰスキイのさかづきが運ばれて來ると、大貫はぐつと一息に飲みほしてしまつて、すぐに後の一杯を注文した。醉ひがほゝに上つて來ると、かれの目は少し明かるい輝きを帯びて來たが、しかしやつぱり憂うつの影は、如何にしてもそのひとみから消えなかつた。兎に角かれの容貌は、さすがに當年の才人の面影が、何處かにほの見えてはゐたけれども、多年の放浪生活の間にきざみ付けられた辛酸のあとは、その額にも、そのほほにも、著しいけわしさを殘してゐた。

新しい杯が來ると、それをまた半分程飲んでから、大貫は少し勢ひ付いたやうに段々おしやべりになり始めた……。

『しかし僕はあの時日本を去つて好かつたと思つてゐたよ。あれで毎日々々してゐたところで何になるんだ。安つぽいペンキ畫見たやうなものを描いて、それで大家として納まつてゐられる日本ぢやないか。そんなところにゐるよりも世界を股にかけて歩くボヘミアンとして暮す方が、どの位生き甲斐があるか知れやしない。今夜だつて僕はさう思つたね、何だい、ちよつと支那邊まで行くのに送別會も何もあつたもんぢやないと……。併しこんなことを言ふものゝ、僕はあの葛之助つて人は好きだよ。好きだからこそ送別會にも出席した譯なんだがね……』

さういつてから何を思つたか取つて附けたやうに、むせるやうな笑ひ聲を立てゝ、

『はゝゝゝ、少し醉つたかな。何だか大分愉快になつて來たよ。何うしたんだ。君はちつとも飲まないぢやないか』

『うん僕は近頃あんまり飲まないんだ』

松本はかうして大貫の言葉を聽いてゐると、だん／＼感傷的な心持にならずにはゐられなかつた。今この放浪兒の何處に、あの人氣の絶頂にあつた時分のはなやかさを求めることが出來よう。彼はむしろ憐憫に近い眼差でぢつと禿げ上つた額の邊を見詰めながらいつた。

『しかし君もあんまり飲まない方がいゝね。それに君の體はさう丈夫つて方ぢやないんだからな』

『そりやあ僕だつて飲まない方がいゝと言ふこと位判つてゐるよ』

『たしか君は一度肺尖が惡いなんて言つて伊豆の方に行つてゐたことがあつたね』

『うん、あつたよ。あれでも半年位行つてゐたかな』

大貫の顏は何故か少し蒼ざめたやうに暗くなつた。が、松本はそれに氣が付かずに冒瀆を續けた。

『あゝ、さう、さう……。伊豆に轉地をしてゐる間に、君はあの有名な「熱風」つてやつを描いたんだつけ』

『うん、さうだ。が、もうよさうそんな話は……。畫の話なんて面白くないよ。それよりも少し近ごろの芝居の話でも聽かうぢやないか』

『芝居の話もつまらないなあ』

『それぢやあやつぱり女の話かねどうだい、ちつたあ女優に綺麗なのがゐるかい』

『さあ、あんまりゐないな。今夜來てゐた柳澤京子なんぞはいゝ分だらう』

『柳澤京子……』

大貫は訊き返すやうにさういつてから、探るやうな調子でいつた。

『そりやあ何かい、遲れて入つて來たあの女かい』

『あゝ、あの時一番先に入つて來た女さ』

『さうか……』

大貫が深く溜息を吐くやうにさういふのと、ほとんど同時位だらう

『あら、大貫さんぢやいらつしやいませんの』

といひ乍ら、此中での年嵩らしい、二十四五くらゐの小肥りの女給が、このテーブルの傍へ近付いて來た。

馮の通電に呼應 閻錫山洞ヶ峠を下る
麾下將領に重要作戰を授く 兵工廠また大馬力

（天津廿九日發國通）表面中央擁護を裝ひつゝも祕かに代表を馮玉祥の許に派遣、合作を企圖しつゝあつた閻錫山は、馮玉祥の反蔣通電發表と同時に愈々洞ヶ峠を下つて反蔣の旗幟を鮮明にし、廿六日太原綏靖公署麾下將領を招致して左の如き重要なる反蔣作戰を決定した

一、平漢線を中斷し中央軍の北上を阻止する目的を以て五ケ師の兵力を順德に進める

一、山西南部省境より河北省北部に向け三ケ師の兵力を配備す

尚ほ右反蔣作戰をなすと同時に山西兵工廠は大馬力をかけ俄かに活況を呈するに至つた

『寫眞（上）馮玉祥（下）閻錫山』

方振武もまた馮玉祥と合流
反蔣運動益々猛烈

（天津廿九日發國通）張家口方面の消息については平綏線の電報電話不通の爲眞相未だ明白でないが確聞するに方振武は宣化に於て何健軍三千の武裝解除を行ひ更に多倫方面の敗兵を收容漸次勢力を增大二十三日手兵二ケ旅を從へ抗日總司令と稱し同道張家口に乘込んだ方振武は目下同地大飯店に宿泊連日馮玉祥と協議を重ねつつあるがその結果同軍は主力を大釜口附近に集中嚴重なる防禦陣地を構築し張人傑を抗日第一軍長に任命した、一方馮玉祥は二十三日舊部下將領を圖書館に召集協議の結果方振武と合作、抗日反蔣運動の爲め蹶起するに決した（寫眞は方振武）

中央軍は 徹底的打擊

蔣介石直系の中央軍は數次に亘つて北上し主として古北口正面に於て我軍と戰鬪を交へたが其內第二、第二十五師の如きは徹底的の損害を受け後方に於て兵員の補充を行ひ再度戰線に加入したと云ふ狀態である

馮の反蔣通電に 北平軍事分會大狼狽
討馮準備を開始

（北平卅日發國通）馮玉祥の反蔣抗日通電の發出に狼狽した北平軍事分會では馮玉祥討伐準備のため昨二十九日密かに二十[illegible]に對し所屬列車を北平西直門驛に集中方を命ずると共に北寧鐵路局長殷宗灝に對しても軍用列車十個を豐臺驛に準備、命令を待つべしとの通令を發した、尚軍事分會では宋哲元炳勳の態度に就いても疑惑を懷き嚴重行動監視中である

滿洲問題に就き 米國へ警告す（十）
米國記者 ナサニール・ペツフアー論說

現在の西歐諸國の態度は日本のみに對して道德律を擔ぎ出すと云ふ態度を持し居るけれども日本以外の他の國へ對して取り得た他の律を各國は保存して置いても惡くはなかろう。懷疑的の日本が納得出來ぬも至極道理な事だ。日本が壽府で意地張つたと云ふのならそれは他國の深い懷疑に動かされた爲めであり之又尤な話である

（聯盟の決定事項）新時代の崇高な宣言が有つたと聞く、其の決定の徵候はまだ一向見受けられない

日本は何故に會議放棄の卒先者とならうと申出るのだろうか？

恐怖の心理と恐怖から生れる侵略は先づ日本から除去せなければならない。

日本の心境は丁度小國民が幸運にも破壞を免れ得て自已の力を威勢よく見せびらかさなければならないのである——此は單に自已滿足かは知らないが——

此の恐怖心たる今猶正當なものである、大體の責任は西歐諸國側に存する

日本は先づ第一に他列強が極東に何等野心を有しないと云ふ確信を得ぬ間は動かされないであろう、確信を得るには長年月が必要であろうがそうなれば平和の端緒はつけられた事になるのである

どう云ふ手段を取つても時間はかゝるものだ。幾時代もかゝつて作り上げられた情勢は一時の決心だけで破壞され得るものではない。何から取りかゝつてもこの道長い年月がかゝる。

一九二一年ワシントン會議に於て極東の國際的の怨恨に忠實に面接し得たならば一九三一年の戰端は防ぎ得た事であろう。若し今から始めたとしても吾人の希望は一九五一年迄には完成しないであろう。若し又一九四一年迄待期したならば其の間戰爭がなかつたとした時に希望の達成は一九六一年迄は出來ないであろう年月がかゝる。金もかゝる。又高い代償も免れ得ない。選たくば自發的に受け入れられた損害と戰爭の破壞に依て負はされる損害との間に在る

一九世紀征服者の亂暴狼籍は辨償されなければならない新國際協會の存在し得る前には舊社會損失を大英斷を以て帳簿より抹殺して了ふ事であろ（完）

張家口にあつて全國各地の反蔣運動を指導せんとする形勢にあり

今後の支那軍 行動注目さる
我には又完全な準備

密雲、懷柔の戰線は現在北平の周圍に第二、第八十三、第八十七、第八十八師及騎兵第二師を集結し又第四十四、第八十八師を順義附近に、第七十一、第七十三師を高麗營附近にそれぞれ配置してゐる、その總兵力は約九萬を算せられるが實据にはなほ三旅が退却の姿勢でゐる、中央軍以外の支那軍も又我軍に擊退されて逐次後方へ退却し、宋哲元軍は通州附近に王以哲軍は通州よりその東南方馬頭鎭の間に又商震軍は北平の南苑に高桂滋、龐炳勳軍は北平東北、東鎭附近に傅作義軍は昌平一帶に位置し大体中央軍と共にその重點を北平の周圍におき、なほ孫殿英軍の主力は延慶附近に、何柱國軍は蘆台から天津北方地區を守備してゐる中央軍以外の支那軍の總兵力は約十五萬に達してゐる、以上の体勢である支那軍の今後の行動は注目に値いするが一方我軍は如何なる場合でも直にこれに應じ得る準備を完了してひたすら形勢を靜觀してゐる

民政部異動

民政部警務司事務官大園長喜氏は今回ハルビン警察廳特務科長に榮轉、三十日午前八時五十分發列車にて新任地へ向つた

反抗日の 馮の勢力五、六萬
北支の政局憂へらる

（天津二十八日發國通）馮玉祥は今回抗日の美名の下に反蔣軍事行動を開始したが、同軍と行動を共にする各軍隊を合すれば優に五、六萬に達すると云はれ形勢如何では北支の政局に重大影響を及ぼさん

張家口に 陣地構築

（天津廿九日發國通）馮玉祥の反蔣運動に關するその後の情報に依れば、馮は張家口の大衛門外に陣地を構築し多倫高原方面からの敗殘兵を全部武裝解除して自已の軍隊に改編し、その勢力は漸次增大しつゝあり

反蔣抗日同盟軍の主力は目下

日米豫備商議の內容 外務省に到着

（東京廿九日發國通）ワシントンの日米豫備商議は廿七日で一段落を告げたが、外務省着公電によれば、商議は政治經濟兩問題に亘り豫想以上の效果を擧げた、內容は大体左の如くである

△政治問題

滿洲問題を含む日支問題には米國は原則として容喙せず

軍縮戰債並に世界平和保證には　日米協力一致して目的達成に努力す

△經濟問題

交涉は頗る廣汎多岐に亘つて居るが結論は次の三つより成る

一、日米間の意見完全に一致ロンドン會議で米國代表協力目的達成を約したもの

イ、關稅休戰實行

ロ、現存關稅障壁撤廢乃至制限

ハ、互惠稅率に依る最惠國條款均霑

一、問題の日本品の所謂ダンピングは爲替下落と國民生活その他によるものなることを米政府は明確に承認、ロンドン會議でも日本品を單純にダンピング視するは避くべきだとする諒解成立

一、資本移動、通商障害、金本位恢復、銀本位制採用の可否等が論議されたが確定的協定に達せず一切ロンドン會議に移された

日本は飽く迄 相互協力で行く
紐育着の石井全權語る

（ニューヨーク二十八日發國通）石井、深井全權の一行は廿八日午前十一時ワシントンを退去し、夕刻ニューヨークに到着した。石井全權は出迎への米國記者に對し左の如く語つた

日本代表部はロンドン經濟會議に對し支那に於る對日ボイコット問題處理案を提出するかも知れぬ、然しこれを會議に提出するに當つては日本は飽くまで相互協力の精神を以てする考へだ、蓋し會議で何れか一部の國が自國の利益を目標とし掛引きをなさんとするが如きことあらば、會議は成立の見込みがない。支那の排外的對策は全世界を脅すものである。支那は今や其の假面を捨てゝ完全に日本との經濟關係を決裂せしめようとしてゐる。ルーズヴエルト大統領と余との共同聲明書中に貿易並びに資本の流通に關し、現在の不合理なる障害があるところではこれを除去し云々と云つてゐるのは、例へば關稅障壁、輸出入割當て制度、貿易制限其他の障害を指すのである其他の障害とは貿易及び商業妨害の如きもので、ボイコットは正に最大の貿易障害である

海邊河川警備に任ずる 警備艦艇建造
一部は目的地に廻航

滿洲國內河川、沿海警備のためかねて之が充實を圖り所管廳たる軍政部、民政部に於て警備艦艇建造計畫をなし、着々完備に向つてゐるが、民政部警務司に於て計畫實施を見てゐる海邊警察隊の警備艇建造計畫並にこれが進行狀態は左の如くである

△建造計畫中のもの

十噸乃至十五噸級十二隻

五十噸級四隻

二百噸級二隻

△購入するもの

八百噸級二隻

で其中既に進水、目的地に廻航されたものは（海光）（海瑞）（各五十噸）で、（海鵬）（二百噸）は來る六月十二日進水續いて各艇も續々起工進水さるゝ筈であるが、各艇は大砲機關銃、探照燈、無電を有し艇體は小なりと雖も現代科學の粹を聚めたもので、之等精銳艇完成の曉は沿海に於ける警備網は完全を期し得べく海賊船の跋扈等は昔の夢となる日も遠いことではない

なほ五十噸級には天地陰陽に因んだ（海光）（海瑞）等の名稱を用ひ二百噸級は鳥に因んだ（海鵬）等の名稱を用ひることゝなつてゐる

優秀艦五隻を加へ 面目一新の江防艦隊

（ハルビン廿八日發國通）滿洲國江防艦隊では新艦建造に關し二十八日左の如き公式發表を行つた、松花江に

=一軍艦= が浮んで既に十五年になるが舊東北政權に依り新艦が建造されたことは一度もない滿洲國は建國二年にして早くも數隻の砲艦砲艇を建造するに至つた其內大同、和民、恩民、惠民、普民、の五隻は本年六月中に竣工の豫定であるこれ等は艦形は小なりと雖も從來の江防艦隊所屬の何れの艦艇と較べても遜色なきのみかはるかに優秀な性能を具備し居り一朝有事の際は國防の第一線に起ち又平時では松花江上の治安並びに航運の保護にも當るものでこれ等艦艇の最大特徵は其の艦形を利用して第二松花江嫩江上流に溯航し得る點である、江防艦隊はこれ等新艦の出現に依り數に於いては一躍從來に倍加し且つ又其の內容に於いても

=到底= 往時とは比較にならぬ程有効となり斯くて滿洲國の國防は泰山の安きに置かれるに至るであらう

駐日丁公使 陸相訪問

（東京廿九日發國通）駐日滿洲國公使丁士源氏は廿九日午前十時荒木陸相を訪問、新任の挨拶旁々滿洲並に北支方面の情勢につき聽取した

篠康民政部次長一行
海鵬進水式參列の爲神戶へ向ふ

滿洲國海邊警察隊警備艇建造は着々進捗を見つつあるが、第三番目の進水艇たる「海鵬」（二百噸）も愈々來月十二日神戶川崎造船所に於て進水式を擧行することゝなつたので、該艇を以て各艇の進水を代表せしめ滿洲國側ではこれに參列することゝなつた、滿洲國側代表として民政部總長代理篠康次長秘書官同部王土木司長、劉文書科員、警務司長代理同司坂下事務官一行は來月六日或は八日午前九時發列車にて赴日、進水式開催地たる神戶に向ひ十二日午前八時三十分警備艇海鵬の進水式に參列、十四日造船所側招待會、翌十五日滿洲國側返禮あり同夜直ちに東京に向ひ海、陸、內外、拓務各省其他關係方面を訪問御禮挨拶をなし橫須賀にも赴き日本海軍の精銳を見學約三週間に亘り各方面を訪問の豫定である

日英民間協議會
英國側の反對意向で 我が要望達成望み薄

（東京廿九日發國通）日英民間協議會に對する我官民協議會の決定に基き外務省では曩に松平大使に訓電を發し我要望の達成を命じたがその後折衝經過に關し松平大使より外務省への入電によれば、英國側は大体次の如き意向を有し右實現は著しく望み薄となつた

一、協定品目を棉製品に限るとするに對し英國側はゴム製品、自轉車、其他日英競爭品中日本品の價額低廉なる品目をも加ふべしとし

二、日本が英國政府の助力を希望せるに對し、英國はこれに反對

三、英國屬領の關稅引上に對する英政府の保證を要求するに對し英はオッタワ協定の趣旨を前提條件とすることを固執してゐる

警務局 新京駐在員決定

（大連廿九日發國通）關東廳警務局の新京駐在員は左の如く決定した

高等課　警部　井上定弘

同　警部　灘又次郎

保安課　猪苗代直躬

警務課　警部　岩井國吉

警部　木野勘七

尚警視級の駐在員は久下沼警視及び松木警視交替で駐在することゝなつた

張海鵬省長
着任と同時に 行政大改組

（奉天廿九日發國通）曩に熱河省長に就任せる張海鵬氏は廿日同省城に着任したが、着任と同時に從來の便法として設けられてゐた各行政機關は全部適宜に改組織し、實質的省務を開拓するに至り目下着手實蹟を擧げてゐる

森俊成子 貴族院議員を辭任

（東京二十九日發國通）貴族院議員森俊成子は家庭の事情で貴族院議員を辭任した

小林少將 講演

小林駐滿海軍司令官は三十日午前九時十五分から十時三十分迄新京署講堂で國防問題に就き全署員に講演をした

人事往來

▲安達中佐（新京線區司令官）二十九日午後四時三十分奉天へ
▲井上少佐（關東軍特務部）同上
▲佐野主計總監（關東軍）同上
▲小宮二等軍醫正（陸軍々醫學校）同上
▲千宗鎬氏（奉天高等法院長）同上
▲岡本大佐（ハルビン憲兵隊長）二十九日午後七時五十分來京
▲許香九氏（黑龍江省公署秘書長）二十九日正午來京
▲羅緒寶氏（吉林省公署秘書長）同上
▲熙財政部總長同上

團體

▲佐賀縣立商業生徒十五名三十日午前六時四十分來京同午後四時三十分奉天へ
▲大阪府教育會員十九名三十日午後三時三十五分來京同四時三十分奉天へ
▲朝鮮長端驛主催團十一名三十日午後零時四十分奉天へ
▲廣島縣教育團三十八名三十日午前六時四十分來京同八時四十分ハルビンへ
▲東來高等農林生五十三名三十日午前六時四十分來京同午後零時四十分奉天へ
▲奥中佐（關東軍司令部附）二十九日夜來京滿洲屋旅館へ
▲松崎經理課長（關東廳）三十日午後三時二十五分來京
▲井出中將（豫備役）三十日午後七時五十分來京

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　[illegible]
同遠期　[illegible]
紐育銀塊　[illegible]
孟買銀塊　[illegible]
米英爲替　[illegible]
米日爲替　[illegible]
米支爲替　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナゴンダ株　[illegible]

▲綿花
●米棉　現物　七月限　九月限　十月限　十二月限　一月限　三月限　五月限　[illegible]
●印棉　ブローチ　ベンゴール　オームラ　[illegible]　今日休會

▲大連上海向　[illegible]
▲大連天津向　[illegible]
▲大坂株式　大株　新株　新紡　新　國　大鐘新　鐘新　東新　[illegible]
▲同短期　[illegible]
▲大坂三品　當限　六月限　七月限　八月限　九月限　[illegible]

▲大阪棉花　當限　先限　[illegible]
▲大阪期米　當限　先限　[illegible]
▲橫濱生糸　當限　中限　先限　[illegible]
▲大連金鈔票　現物　當限　先限　[illegible]
▲大連特產
●大豆　現物　寄付　近値　步値　高値　安値　引出　[illegible]
●豆粕　袋込　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　[illegible]
●豆　現物　六月限　七月限　八月限　九月限　[illegible]

新京市況

大豆　現物出來高　三車　[illegible]
▲錢鈔（現物）
鈔票對金票　[illegible]
大洋對金票　[illegible]
國幣對金票　[illegible]
大洋對鈔票　[illegible]

夜店の申込み押すな押すな
締切つて後も續々と出願　愈よ一日から店開き

新京人士の夏に唯一の慰めとなる夜の散歩それをあてこんで吉野町三笠町日本橋通り等が毎年六月一日から九月末日まで

『夜店』を出すが、その年々の氣候の加減で賑かだつたり寂しかつたりしたが今年は新京の膨脹發展につれその殷賑を豫想して出店希望者が非常に多くすばらしい前景氣である吉野町二丁目は六十一店で滿員、區域は金泰興角から豊泰號靴店角まで、樹て替へを急いでゐる鈴蘭燈は六月一日までには間にあはず少し遅れる模樣であるが夜店は一日夜から開かれる店の

『費用』は期間中十三圓、これは地方事務所へ納める地代、電燈料、監視人夫、掃除人夫の給料等に充てられるもので勿論毎晩と云ふ譯にはいかないけれど三ケ月に割ると一晩十錢あまりになる安いものである、三笠町はミカサの前から盛倉洋行前邊までの豫定で計畫を發表したところ四十軒の申込みがありまだ續々申込みがあるので更に區域を三笠町郵便局出張所前までとしたさうでこれまた一日夜から開店する各所にアーチを設け電燈を點じ景氣を添へる、出店費用は吉野町と同樣一店十三圓であるといふ、斯うして

『今年』の夏の夜の繁華は吉野町と三笠町へ吸ひよせられて行くであらう

馬賊上りの四人は全部捕まつた
市民は安心してよい

既報、逃走囚人の逮捕には日滿官憲協力緊張裡に大活動中であるが既に强盜犯人等馬賊あがりの恐ろしい犯人は足に鎖がついてゐたゝめ悉く二十九日までに逮捕殘るはコソ泥程度のもので市民は恐るゝに足らない

逃走犯人更に九名逮捕さる

既報、新京地方法院看守所囚人逃走者殘余の逮捕には引續き日滿官憲が協力一致し搜査の結果その後三十日早朝迄に各所で逮捕されたものは九名內五名は遊動警察隊の手に、二名は大經路警察署分局に、一名は城內憲兵分隊、一名は附屬地憲兵隊の手に捕縛されなほ引續き各所で搜査に努めてゐる

脫獄囚一名自首

脫獄囚窃盜犯田光祖（二五）は暗夜を衝いて警戒網を潜り西四馬路の父田應龍方に立廻つたが父に懇々とその罪を說諭され本日午前十時父に同道させて檢察廳に自首して來た、之で未逮捕者は二十三名となつた譯である

雨中の强盜ナンセンス

祝町の强盜慘劇事件、續いて破獄脫出事件あり、市民を戰慄せしめ緊張しきつてゐる二十九日午後八時折柄の豪雨の最中とんだ强盜ナンセンスがあつた、新發屯長谷川組工事現場の雇人が、顔色を變へ、新京署にかけ込み、「只今數名連れの强盜が襲擊して來ました」と屆出た、同署から直ちに所轄總領事館警察署に急報すると同署では時を移さず全署員の非常召集を行ひ今江主任指揮の下に豪雨を衝いて現場に急行し附近一帶を遠卷に搜査に努めた處、强盜でなく長谷川組の現場監督が巡廻に來て表戶をコツ〱と打つたのを昨日來の破獄事件に刺戟され脫出犯人が襲つて來たものと早合點をし裏口から飛だし屆出たものである

京大緊急評議員會
硬軟兩論對立　更に紛糾を豫想さる

〔京都廿九日發國通〕京大の紛爭拾收の爲最高指針を決定する京大緊急評議員會は二十九日午前十時半から開催、愼重善後策に就き協議を重ねたが、劈頭小西總長は二十八日の文相との會見顚末及び文部當局の意向に就き報告後自己の辭意の堅きを表明、續いて會議に入るや

一、小西總長の進退に關する件（總長の辭職の可否、並びに辭意を認めるとして其辭表提出の時期）
一、宮本法學部長以下同部全教授の總辭職と此の復職に關する件
一、學生の研究の自由擁護運動の取締並びに左右兩翼の潛入防止の件

等に就き討論したが議題毎に硬軟兩論對立し紛糾を重ねたが結果總長慰留の再決議、復職希望、學生運動を自由放任せず適當の取締方を學生課をして極力行はしめる事させる模樣である

京大評議會
小西總長を慰留

〔京都廿九日發國通〕昨夜歸洛の小西京大總長は午前九時半大學本部樓上で開催された各部々長會で文相との會見顚末を報告し次で午前十時から開催された評議員會で文相との會見顚末を同樣報告後法學部教授の辭表を如何にすべきか難局打開は自分の辭職以外には外に方法なき旨を主張したが大勢は總長の辭意を慰留したので總長も再考慮を約して正午散會、午後一時より各學部の教授會を開き、夫々評議會の經過を報告し打開策として法學部の面目を樹てる方法を研究する筈である

小西總長一先づ飜意

〔京都二十九日發國通〕二十九日午前十一時半開會された京大緊急評議員會は種々議論の結果、總長は一先づ辭意を飜し現職に留つて事態の迅速なる拾收に善處することを決議總長も之を受諾これにより更に具体案を練り三十日午後より三度評議員會を開會し、各部教授會で出來上つた對策を持寄り協議することに決定十一時半閉會した

京大學生文部省に出頭
文相に辭職を勸告せんと

〔東京二十九日發國通〕鳩山文相に辭職を勸告せんと京大法學部學生は午前七時文部省に出頭したが文相は面會せず累々と押問答をなし文相に會ふ迄歸らぬと駄々をこねた一方全國大學教授聯盟では文部省と京大間に調停せんとして午前十一時半松波幹事長が栗屋次官と會見し午後三時工業俱樂部で總會を開いた

學生代表
穗積博士に聲明書を手交

〔東京廿九日發國通〕京大代表學生委員は午後二時東大に法學部長穗積博士を訪問委員署名にかゝる左の要旨の聲明書を手交した

聲明書

東大學生諸君に眞相を訴へ正しき批判と同時にその御諒解と御同情を乞ふ

我等の主張正しきとせば御支援を乞ふ穗積博士は之を受け取り諸君の行動に深き理解と同情を持つてゐるが今日のところ具体的にどうすると云ふ考へはない、學生の立場を忘れずに愼重に事に當られよと回答した

逆產橫領事件で三谷廳長聲明書を發す

〔奉天二十九日發國通〕張作濤逆產問題に關する疑獄事件に就き兎角の風評を蒙り居る三谷警務廳長は省公署警務廳幹部及び日滿新聞記者團立合の上本日午前十一時警務廳に於て該事件には何等關係なき事を聲明したが、目下右事件の中心人物は本年四月奉天官憲の手に容疑者として取調中なるを以て搜査に支障を來す恐れあるので、內容に就ては發表出來ぬが苟も該事件に關與する樣な事があれば日本軍人の名譽に關しても立派に切腹して見せると悲壯な面持で左の聲明書を發表した、滿洲事變勃發當時張作濤の逆產問題に關して、小生に何等か不正の處置ありたるが如き最近ラヂオ及び一部の新聞に放送又は報導せられたるも、當時小生の執りたる處置に就ては聊も疚しきことなきを天地神明に誓つて聲明す

昭和八年五月二十九日

元奉天憲兵隊長
奉天省公署警務廳長　三谷　淸

滿鐵驛の大改造計畫

新京の發展につれ管內各驛の乘降客も激增の傾向にあり從て現在の驛の設備機構では到底收容出來ないので新京鐵道事務所では今回經費四萬圓を投じ管內の陶家屯、蔡家、十家堡、楊木林、虻牛哨、桓勾子、泉頭、滿井、馬中河、金溝子、中固、平頂堡の十二驛を大々的に改造する事となつた

各等列車の駐車標を番號で表示

最近の新京驛の非常な雜踏ぶりを緩和すべくかねて關係者寄り〱協議中であつたがその一方法としてさきに新京驛發車ホームの柱に試驗的に番號をつけ目印としてゐたが非常に好成績なので滿鐵線各ホームの柱に附する事となつたこの結果一等車は何番の柱、二等車は何番の柱、といふ樣に利用され大いに効果があるものと一般から期待されてゐる

外國海軍士官の對日偏見に對する是正
（四）　海軍大佐　關根郡平

第六、軍縮問題と日本

一、軍縮問題に就いても彼是批評がある樣だが、此の問題を研究するには軍縮の理想は那邊にありやと云ふことから始めなければならぬ勿論軍縮は軍事費を節約し且軍備競走を止めることが主眼である、けれども之と同時に國防を度外しすることは出來ない、之は何れの國家も同樣である一國の安全感を主張するの餘地を脅威してはならぬ「互に他を攻擊せず」と云ふ樣な觀念が生れるのは之が爲である彼我の安全感を毀損しない樣な軍縮と云へば、それは詮じつめた互に他を攻擊せずと云ふ方針に據る以外に途がない、之は既に壽府に於て各國代表が容認した處である、唯攻擊力に差等を附し劣勢力を與へられた者の安全感を全然破壞し去るが如き從來の遣り方は軍縮の精神を沒却するも亦甚しい哉である

二、軍艦を攻防の兩種に分類するのは不都合だと主張する者もあるけれども之は何か先入主がある爲であらう冷靜に考へたならば毫も無理がないことが判明しやう今は故人となつたチャールス・ビー、ハウランド氏は、一九二八年度の「米國の國際關係」に「米國にして若し遠隔の地に在る太平洋諸島をも適當に防衛し得る程の航續力を持つた海軍を建設するならば吾人はオークランド、メルボーン香港及東京を砲擊することが出來るやうな艦隊を持つ事になり、如何に吾人の動機が純なものでも即ち全然防禦的であつても、斯樣な建艦計畫は、他國の不安を惹起するのは寧ろ當然と謂はざるを得ない」と論じて居るが外國の建艦計畫は日本の國都を脅威するに反して日本の建艦計畫は、比率が逆になる迄は絕海の屬領以外外國の何物にも脅威を與へないことは事實である然しながら假令屬領と雖も脅威を與へるものは、軍縮の精神に反すると考へるからして日本は、軍艦を攻防兩種に分けたのである、此の崇高な精神を排斥すると云ふことは、軍縮其の物を非難するも同樣である、潛水艦や飛行機丈で攻勢作戰が出來るであらうか大型飛行機は遠距離攻擊に堪へ得ると云ふかも知れぬが、飛行機が大型となればなる程運動は不良となり、又飛行機射擊砲に曝らす目標が益々大きくなるに從つて攻擊は成功の算が減少するに海上又は海を越へて活動する飛行機は、航空母艦に搭載されて始めて眞實の攻擊兵器となるのである、即ち攻擊兵器として第一に數へなければならぬのは、海軍の關する限り航空母艦であり之に次ぐものは飛行機や潛水艦の攻擊に對して安全性が多く且、他の兵種に對して攻擊力が大であるところの戰艦と巡洋戰艦である、重輕巡洋艦は兩者の中間にあり、輕巡洋艦以下は防禦的色彩が濃厚となるのである

觀じ來れば、軍艦を攻防兩種に區別することに何の矛盾があらう不都合があらう

三、日本が參加した過去の軍縮會議に於ては、如何なる場合に於ても相對的比率と云ふものが重要視されたが我方の希望しない比率を割當てられると云ふことは、日本國民の安全感を傷けること甚だしい、壽府に於いて軍備の均等權が軍縮の根本方針として採擇された今日に於ては、もし條約の比率を依然適用せねばならぬと云ふ理由はないではないか

治安の完璧を期し警備網を二重
滿洲國側と協力近く實施

匪賊跳梁の高粱繁茂期を控へ國都新京の警備網の完璧を期すべく新京警備司令部では滿洲國側と連絡し新京、大屯、吉長線の卡倫の三角線を基線とし更に新京を中心として半徑七里の區域を指定し警備員の配置、通信連絡の完速を考慮し新京警備網を二重的に具体化せんと目下種々關係當局と打合せてゐるが成案成り次第實行に移す筈である

皇姑屯で滿洲國人狙擊さる

〔奉天廿九日發國通〕二十八日午後三時頃吳家荒勸業公司農場消費組合書記尹翼煥氏は皇姑屯西方十七町の地點で靖安軍の爲ピストルで狙擊され腹部貫通銃創を負ふた、急報に接し、領事館警察員出張し滿洲國官憲と協力搜査に努めたが加害者は何れかへ逃走終に逮捕されなかつた尙尹氏は目下滿鐵病院で手當を受けてゐるが重態である

蘇聯砲艦の不法射擊事件

〔ハルビン廿九日發國通〕同江附近に於ける蘇聯砲艦が滿洲國ジャンクを襲擊したる事件は既報の如くであるが、廿八日同江縣長より當地に左の如き公式報告が達した、即ち

一、松花江と黑龍江の合流點附近には數隻の蘇聯砲艦が游弋して居る

二、同江よりハバロフスク附近の撫遠に至る間及其上流を航行する船舶は屢々蘇聯側より不法なる射擊又は抑留を被り、上流地方に於ては最も糧食が缺乏して居るが、之が補給運輸を妨害されて居る狀態である

炭買ひを裝ひ拳銃强盜侵入
主人の機轉で無一物のまゝ拳銃を放ち逃走す

二十八日の未決囚脫獄事件に對し各警察署では市內外を嚴戒中の折柄、大膽にも二十九日午後九時五分市內室町二丁目九番地薪炭商炭安事麻布磯平氏方にコールテンの洋服を着た一名の滿人が現はれ、最初炭を買ふと見せて突然居直り、モーゼル銃を磯平氏に突き付け、金を出せと脅迫したので磯平氏は金を持つて來るからと裏口より脫れ出た途端、しまつたと賊は一發を發に放つて逃走したが、昨日に續く今日の出來事とて新京警察署では警戒中の巡査が直ちに追跡搜査中である、尙磯平氏の機轉により被害は全然無かつた

滿洲里警察隊員
邦人醫師を傷害致死
―廿九日午後記事解禁―

滿洲里に於ける國境警察隊員の邦人醫師傷害致死事件は取調べの都合上記事揭載禁止中であつたが、取調べ一段落と共に廿九日解禁され左の如き事實が判明した、國境警察隊員牧田三鶴（二九）は

『去る』二月十二日午前一時頃滿洲里邦人料理店福來樓で、同地ニキチンホテル止宿醫師小出角（四六）と會談飲酒中些細の事から口論となり、小出が牧田を毆打したのに端を發し大格鬪となり牧田はその場にあつた德利で小出の頭部を亂打、頭骸骨を挫傷瀕死の重傷を負はせ直ちに市立病院で加療したが、十四日午前四時遂に絕命した、一方加害者牧田は翌日宇野隊長の下に自首領事館司法部の嚴重な取調べを受けたが、一時在留民間には兎角の噂が流布され、在留民大會まで開かれる騷ぎとなつたが、取調べの

『結果』單なる喧嘩が事件の起りなること明瞭となり加害者は傷害致死罪で送局された

鐵嶺遼陽の
兩領事館廢止

〔奉天二十九日發國通〕鐵嶺遼陽兩領事館は今回閉鎖することに決し、先程之が公表されたが同地在留邦人の不便を除去する爲、兩館跡に奉天總領事館臨時出張所の看板を揭げ、奉天總領事館より館員を出張せしめる外必要に應じ臨機の處置を執り、在留邦人の不便除去に努力する筈である

佛教講演會

日時　五月三十一日　晝一時半　夜七時半
講師　端穗亮爾師
場所　祝町西本願寺

西廣場校
修學旅行へ

西廣場小學校生徒五年生百七名は前原、森崎、村田の三教員に引率され二十九日午後零時四十分發列車で奉天撫順大連旅順方面へ修學旅行の途に上つた

輸入組合加盟店
一日は休業

新京輸入組合加盟店は六月一日家族會を催するで全部同日は休業する尙市場內の加盟店も同樣休業するのから必要品は前日に買つて置かないとまごつくことになる

花街の噂　足にこまる

新京料理店組合の藝酌婦ダンスホール出入禁止の申し合せが勵行されぬとあつて組合長が其筋へ禁止徹底の協力を求めたといふ問題はその後どうなつたのか、お係りも組合で斯ういふ申合せを致しましたと屆出によつてあゝさうかと聽き置くぐらひの程度で、組合の先棒を擔いでダンスホール出入の藝酌婦を征伐するやうな野暮ではなかつた

×

申合せが徹底しなくて困るなら申合せを廢棄するさといふのが當局の眞の腹の底、然し組合代表の眞ヲ正面から振りかざす國粹保存藝道修練云々には大に敬意を表してい、それもさうだねと合槌を打つてはゐるものゝ時勢を解せぬ聲だと囁つてゐることだらう

それはさうと新京へ行つたら大に踊れると大きな期待をもつて大陸から大吉へ來たといふこの寫眞の主、名は滿洲勇江戶ッ子ださうです、三味とダンスが得意で、大に新京人をと云ふ期待をもつて來たのだが踊れぬとあつて、この足をどうしたらいゝでせうともてあましてゐるさうです

映畫だより

長春座は三十一日と一日の兩夜かつて大好評を博した緣の騎手を再上映する、鈴木傳明、月田一郎、英百合子等の共演の競馬劇添へるに大谷友三郎主演の時代劇成上り者があり入場料は大人三十錢小人二十錢の大勉強であると

ラヂオ欄

三十一日（水）新京

新京前一一、〇五　講演　熱河に於ける兵站線の苦心　滿洲國協和會中央事務局員　古田未二
新京後四、〇〇　レコード
奉天後四、〇〇　錢行金銀相場　商業通信社
新京後五、〇〇　講演　協和會事務局員　張　格
新京後五、三〇　ニュース　滿洲語
新京後五、三〇　演藝
東京後六、〇〇　東京中央放送局編輯
新京後六、三〇　演藝又ハ講演
新京後七、〇〇　ニュース
新京後七、一〇　ニュース（英語）
新京後七、二〇　ニュース（露西亞語）（朝鮮語）
新京後七、三〇　ニュース　氣象通報、放送局編輯及プログラム豫告
新京後八、〇〇　演藝
東京後八、三〇　時報
東京後八、三一　ニュース　東京中央放送局編輯

けふの銀相場

鈔票	金票	一〇六・九〇
大洋	金票	一〇三・三〇
國幣	金票	九九・七〇
大洋	鈔票	九三・七五

幕末異聞　愛慾火箭

作　瀧川駿
畫　村瀨洗舟
（上演上映禁）

（六十九）

廓然坊主（一）

加茂川堤の川柳は、葉を振り落して糸のやうな小枝が、川風に翻いてゐる。

『相手は氣違ひぢや、近寄るな、危ないぞ！』

『狂人に擱掄ふのは罪ぢや！』

心あるものは、斯う叫ぶ。だが暴れ狂つてゐる狂人坊主廓然を、取り圍んだ野次馬連中は、止めさうにない。

やがて衝立を片手に持ち直した廓然は、我武者羅にそれを振り廻しはじめた。

その力の强い事。衝立に當るものは、片端から壞れてけし飛んで行く。頭を割られた野次馬、片腕もがれた野次馬、鬢を掠め取られた野次馬が重なつて倒れた。この樣を見ると流石に物好きな連中もこの元氣に押されて一人逃げ二人逃げして減つて行つた。

この日の怪我人が二百七十六人だと言ふ噂、そんな事にはかまひのない廓然は、血みどろになつて壞れ衝立を擔いで將軍塚の方へ昇つて行つた。が、誰一人その後を追はうとさへしない。

『い、ひ、ひ、ひ、ひ』

薄氣味惡い笑ひ聲を殘して、この血達磨が今清水山の麓を通り掛つた時、

『もし！』

斯う呼んだ一人の男がゐた。千本縞の着物に長脇差を腰に落した、一見遊び人風體の男、それは『巴』の猪之助だつた。

が、返事がない。餘り變つた姿なので猪之助も、もう一度見直して見た。

だが廓然は返事をしない。

『お、お君か？』

猪之助は、この言葉で親分櫻場の半七である事が判つた。

『親分、暫らくで御座んした。たゞ今戻り道で御座んす――可哀想に姐さんは……』

『ひ、ひ、ひ、ひ』

廓然は笑ふばかり、すた／＼と步いて行く。猪之助も[illegible]變だと思つた。だが懐しさの餘り、默つて跟いて行つた。

清水山を拔けきると、左に取つて將軍塚の傍にある、たゞ雨露を凌ぐだけの葺合小舍へ廓然は入つて行つた。

小舍の中へ入つた廓然は、猪之助を見返らうともせず、薄暗い小舍の中で、例の衝立を抱へたまゝ、ごろりと横になつて寢込んでしまつた。

『親分、あつしで御座んす、猪之の野郎で御座んす……』

晝間の疲れか？　廓然坊主は横になつた儘、返事もせず、ぐつすりと寢入つてしまつた。

『仕方がねえ、明日にでもゆつくり話す事にしやう。――それにしても一年經つか經たない內に、親分は甚く變りなすつた』

斯う猪之助は呟かずにはゐられなかつた。江戸で知られてゐる、八百の身内を持つてゐたさる大貸元。櫻場の半七ともいう者が、この有樣は何事だらう。

――兩脇から一氣に橫綱まで延はしとげた花形相撲の柏川關がそれを機會に角道をきりあげて町奴仲間に身を投じ、忽ち八百八町に顏り出した櫻場の半七が、今は乞食に近い姿で乞食小屋よりひどい小屋の中で、木枯に身を晒して寢てゐるのだ――

猪之助は、まだ廓然が氣が狂つてゐるとは氣が着かないらしい。四邊から吹き込む風を、色々と手を盡して止めると、松原の中から拾ひ集めて來た、昔や芒の枯葉に火をつけた。

猪之助は、焚火に手を翳しながら親分廓然の顏に目を注いでゐた。

『おや？』

今まで鼾を掻いて寢てゐた廓然の身體から火のやうに熱い熱が溢れてゐる。

『こりやいけねえ。――親分しつかりなすつて……』

廓然はどうしたのか、高い熱にも見舞はれて、苦しさうな呼吸

五月三十一日　舊五月八日　水曜　丁酉　赤口　定　軫宿

●一白の人　氣を一つにして業務に協力すれば平穩なり　庚と辛と丑が吉
●二黑の人　運氣思はしからざれども焦らずば安全の日　丁と戊と亥が吉
●三碧の人　口舌爭論を愼み長上の言に從へば大吉とす　乙と庚と壬が吉
●四綠の人　物事順調に進めども油斷すれば衰運に傾く　庚と壬と癸が吉
●五黃の人　思ふ半ばにも達し難く苦勞甲斐なき不安日　乙と丙と丁が吉
●六白の人　追風に帆を張りたる如くすら／＼と進行す　丁と戊と癸が吉
●七赤の人　內を守りて平穩の日なり外交には注意肝要　丙と亥と癸が吉
●八白の人　疑惑して決し兼ぬるは功ならず勇氣を奮へ　甲と丁と戊が吉
●九紫の人　誠實を失ふときは小事なり共手に餘るべし　卯と巳と亥が吉

〔大正九年十二月四日第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一個月金八十錢 郵稅一個月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話二三〇〇・二三五三番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

對日抵抗を中止 其代りに交換條件

馮玉祥實兄、舊東北系と會見

全國團体に通電す

(天津三十日發國通) 當地英國租界に居住する馮玉祥の實兄馮基道は二十八日夜自宅に舊東北將領十餘名を招待對日意見を交換の結果

一、一切對日抵抗を中止し其交換條件として日本政府に向つて不平等條約取消を求め領事裁判權の放棄、租界回收を要求す

二、日本政府に向つて掃匪に關する軍事的、經濟的援助を要求し以て極東の平和を計る

三、東亞モンロー主義を主張

四、滿洲國承認の辨法を研究し少時失地回收運動を中止し、日本の態度を靜觀し、若し日本政府が飽迄威力を以て中國を壓迫するに於ては全國民衆總團体は一致團結し起つて永久的抵抗を爲す

と四項の決議を作り全國民衆團体に通電を發した

北支一帶に 軍民の反蔣熱

事態極度に緊張す

(天津廿九日發國通) 過般黄郛の北上、休戰協定成立の氣運濃厚等の爲に北支の事態は一時緩和されたかの如き觀を呈してゐたが馮玉祥が反蔣の烽火を擧げるや雜軍、舊東北軍、僞勇軍中に動搖しつゝあつた反蔣熱は一層熾烈となり孫殿英、宋哲元、黄顯聲等の逐次馮玉祥に合流するもの續出、既に李甲三一派の北支新政權樹立に向つて河北自治聯合軍は塘沽に迫り山東は頑張つて無氣味な沈默を守る韓復榘も馮玉祥に代理を送つて居り又一般民衆團体の反蔣風潮も次第に擴大し廣東派の策動と相俟つて反蔣空氣は殆どその極に達してゐる、而して此の局面收拾の方策に關し中央政府は八方手を盡してゐるが國民政府政權も全く孤立無援に陷り今や北支の事態は極度の緊張を示しつゝある

軍長十名を任命

(天津卅日發國通) 張家口に於て獨立抗日同盟軍組織を發表せる馮玉祥は各軍長を左の通り任命した

第一軍長 宋哲元
第二 孫殿英
第三 方振武
第四 吉鴻昌
第五 梁冠英
第六 張印翔
第七 張勵生
第八 孫連中
第九 石友三
第十 劉桂堂

居庸關は中央軍警備

(北平三十日發國通) 馮玉祥の獨立通電發出と共に不通となつた、北平、包頭鐵間は昨日開通、包頭鐵より昨日午後九時二十分列車が到着したが車中には

廣東の西南派 馮通電に贊成

早速五十萬元送る

(天津卅日發國通) 廣東に在る西南派の執行部は馮玉祥の獨立通電に贊意を表し、武力財力共に極力應援を惜まずとの通電を發すると共に取敢へず鄒元沖が後援費五十萬元を携へて北上すべしと

通信會社審議

廿九日認可申請せる日滿合辦通信會社設立委員會規約、同議事規則、同事務處理要綱は即日兩國政府より認可せられた、三十日は午前十時より前日に引續き總會を開き、滿洲電信電話株式會社定款を附議し午後も審議を繼續した

北滿鐵路と中東路を改稱

六月一日から實施

交通部は六月一日より中東鐵路を北滿鐵路と改稱する旨卅日正式に發表した

敗兵は山西へ 一歩も入れぬ

馮蔣の交戰を予想して 閻錫山省境の警備

(天津三十日發國通) 馮玉祥の反蔣抗日通電に山西省、綏靖主任、閻錫山は舊東北軍の山西省侵入並に中央對馮玉祥軍の交戰を豫想して二十八日山西正太護路司令孫楚を晉綏邊防司令に李生達、晉南邊防司令に第六十八師長李服膺を石家莊正太路警備司令に夫々任命した、一方山西察哈爾、綏遠等の各省境には堅固な防禦陣地を構築、馮蔣兩軍衝突の場合敗兵を一歩も山西に入れじと守備を堅めて居る

停戰交涉の 重大報告齎す

黄紹雄南京に着く

(南京三十日發國通) 停戰交涉に關する重大報告を齎して黄紹雄は二十八日夜南京に到着した黄紹雄は二十九日朝朱培德、賀耀祖、陳儀等の各要人を訪ひ重要協議を遂ぐる處あり午前十時蔣介石に重要報告を爲すべく南昌に向つたが、兩三日中には歸京の筈である

城内入り小包には 稅金二重取り

近頃甚だしい課稅の不統一

果然非難の聲起る

滿洲國財政部に於ては昨年十二月上旬頃より滿洲輸入の小包物に對して徹底的に稅金を課せる事となり爾來大連、安東に於ては嚴格にこれを實施してゐるが最近大連方面より輸送される

「小包」物の課稅が甚だしく不統一で檢査官によつてそれぞれ異つた課稅をなし、爲に同一物品でも輸送時機によつて著しい差格を生じて居るそれ故に商人の仕入物品に及ぼす影響が又甚大で各商店で販賣の小賣價格がまちまちで差異が著しく需要者は非常なる迷惑を蒙つてゐる、現に大連奉天に於てもこの事實が問題となり大連、奉天の商工會議所では

「財政」部に抗議書を提出したとも傳へられてゐる又最近では城内配達の小包物を新京局より滿洲國の局へ送達途中附屬地境界線で改めて稅金を課して居り所謂二重課稅で住民は非常なる迷惑を感じて居る誠幣課稅に統一されたる最近かく變化を來す筈なく當局に對する非難の聲は巷間に滿ちて來た日滿親善

「高唱」の折柄甚だ遺憾なる事で課稅統一に對して一考すべき事だと某通人は語つてゐた

政友絶縁派 會合取止

(東京三十日發國通) 政友會の絶縁派は廿九日本部で有志代議士會開催の豫定であつたが、鈴木總裁や鳩山文相等の自重態度が明瞭となつたので之を取止め、自重派の菅原傳氏等が六月一日芝三緣亭で有志代議士會を開き時局に對し愼重を期すべき決議の筈である

航空事業の統制

關係者懇談會

(東京三十日發國通) 航空事業の統制を圖る爲、遞信省で遞相の名で三十日午後五時から遞相官邸で陸海軍、飛行協會、海防義會、航空輸送會社、三菱、石川島製作所等航空關係者の官民合同大懇談會を開くこととなつた

決定人事

二十九日の國務院會議で左の人事任命が決定された

任吉林省公署理事官 命吉林省公署警務廳長 金名世

任吉林省公署協署長 命吉林省公署總務廳勤務 高乃濤

鳩山文相 京大生と會見

(京都三十日發國通) 京大法科生の總情に絆され鳩山文相は二十九日午後五時文部省で會見し辭職勸告決議文を受理し、學生に對しては訓戒を與へた

關東廳警部 上海總領事館兼勤

(大連三十日發國通) 關東廳警部を兼ねて上海總領事館勤務となつた安田警部は三十日午前十一時出帆の奉天丸で赴任したが、思想警察的に南支と兩分すべからざる關係にある滿洲思想警察の新らしき大飛躍として成行きを期待されて居る

交通部の 所管一部改正

けふ敎令で公布

去月二十二日の國務院會議に上程可決された交通部所管の一部改正の件は五月二十日開催の參議府會議に附議可決されたので卅一日執政へ許可を申請、即日御裁可を得て同日附公布の豫定であるが、これが原因は滿洲國政府と滿鐵との間に鐵道委託經營に關する契約成立に伴ひ事務の縮少を考慮し鐵道、水運二司及從來總務司で主管したる航空に關する事務を兼ね路政司になり現行改正第四十六號に於て鐵道、郵便、電信、電話、航空水運及其他一般交通に關する事項と改定されてゐたが管掌事項を可成具體的に表示する趣旨で鐵道、自動車、運輸、水路、港灣、船舶航空、郵政、電政其他一般交通に關する事項と改められ敎令第四十三號として公布される筈

國都建設局の 土地建物賣却

及び貸付規則内容(上)

三十日午後二時より參議府會議室に於て參議府會議を開催張議長以下各參議出席、二十九日の國務院會議にて上程可決された國都建設局土地建造物賣却及貸付規則につき審議の上可決、三十一日執政の裁可を得て即日敎令第四十四號として公布される筈であるが該規則は次の如くである

國都建設局土地建造物賣却及貸付規則

第一章 總則

第一條 國都建設局長土地又は建造物の賣却又は貸付を爲さむとする場合は別段の定めあるものを除くの外本規則に依る

第二條 土地又は建造物の買受人又は借受人は國都建設局長の指定したる期限内に於て契約に定むる所に依り其の使用を開始し又は施設を完了することを要す

第三條 國都建設局長は左記各號の一に該當する場合に於ては契約の全部又は一部を解除することを得

一、買受人又は借受人に於て本令の規定又は契約の條項に違背したるとき

二、契約に依り貸付けたる土地又は建造物が公用、公共用又は公益事業の施行の爲必要なるとき

第四條 買受人又は借受人は國都建設局の承諾を得て契約を解除することを得

第五條 第三條第一號の規定に該當する爲契約を解除したるときは買受人又は借受人は代金又は借受料の返還及損害の賠償を請求することを得ず

第三條第二號の規定に該當する爲契約を解除したるときは借受人は借受料の返還及通常生じ得べき損害の賠償を請求することを得

第六條 契約が解除其の他の原因に依りて其の效力を失ひたるときは買受人又は借受人は國都建設局長の指示により原狀に復して土地又は建造物を返還することを要す但し第三條第二號の規定に該當する爲契約を解除したる場合は此の限りに在らず

第七條 國都建設局長買受人又は借受人に通知を爲すときは買受人又は借受人其の豫め屆出たる場所に在らざるときは告示場に公告して通知に代ふることを得

前項の場合に於て公告の日より七日を經過したるときは通知到達したるものと看做す

第二章 土地及建造物の賣却

第八條 土地又は建造物の賣却は一般競爭契約に依る但し國都建設局長に於て左記各號の一に該當すと認めたる場合は指名競爭契約又は定價指名契約に依ることを得

一、土地又は建造物の使用目的に依り一般競爭契約に付すべからざる場合

二、公益事業の施行又は産業奬勵の爲必要なる場合

第九條 一般競爭契約に依る賣却に於ては入札の方法に依り申込みたる者の見積賣買價格の中國都建設局長の豫定せる賣却價額に達したる最高價格の入札人を買受人とす但し最高價格の入札人二人以上なるときは抽籤を以て買受人を決す

第十條 土地又は建造物を一般競爭契約に依り賣却せむとするときは少くとも七日以前に左記事項公告すべし

一、賣却土地の所在、地番地目及地積又は賣却建造物の所在及種別

二、入札執行の場所及日時

三、契約條項、契約書案及入札心得を示す場所

滿蒙移民に就て(九)

漠然たる移民 不能論

滿蒙移民に就いて悲觀論を唱ふる者の殆んど凡ての論據は

(一)滿蒙農民の生活程度が我が農民のそれに比して遙かに低く然かも体質强大にして勞働力に富めること、從て邦人移民は到底農家との生存競走に耐えられないであらう

(二)現に滿洲に地歩を占めて二十五年十五億の資本を投じて然かも移民は振はなかつたではないかといふ

旅行者の瞥見感は單なる推測にすぎない漠然たるもので何等根據なきものではあるが然しそれ丈け隨勢的な勢力は恐ろしいものがある、さりながら移民企畫を阻む者はその依つて來る原因を究め、改良の技術的方法を確立し、此の漠然たる氣分を打破するに努めねばならぬ

第一の謬見については正確な數字的比較研究の結果によつて打破すればよい千葉豐治氏の(滿洲農業の特質と日滿農業の比較研究)によれば氏自ら大正十四年及大正十五年南滿各地に出張し地方農家の實情に精通せる日本人の協力を得て大中農家の代表的と思はれる日支人農家各十名の家計費を調査した結果と農林調査の内地農家計費を比較すれば次表の通りである

△大正十五年調査

種目	(一)南滿滿人農家(十戸平均)平均家族數十五人 實數	百分比	(二)南滿日本人農家(十戸平均)家族數五人 實數	百分比	(三)日本人內地農家(平均家族數七人) 實數	百分比
食費	四九、二四	五〇、九	四四〇、七一	四九、〇	六〇九、五四三	五五、〇
被服費	一五、七〇	一六、〇	七五、八五	八、四	九五、五三一	九、七
住居費	一八、一〇	一八、九	二二、三〇	三、六	一五、一六七	一、六
光熱費	一五、五〇	一五、五	七一、二四	七、九	二五、二〇七	二、六
教育費	一、六〇	一、六	一四、四〇	一、六	一七、三〇〇	一、八
衛生費	〇、四〇	〇、四	二九、四二	三、二	三四、五二〇	三、五
交際費	八、四〇	八、六	七三、八〇	八、一	二二、五七七	二、四
雜費	四、〇五	四、一	三一、四二	三、五	一三二、五三一	一四、四
合計	九六、八四	一〇〇、〇	八九九、一四	一〇〇、〇	九八一、五二六	一〇〇、〇

△前表に依る生計費比較

種目	南滿滿人農家 實數	百分比	南滿邦人農家 實數	百分比	日本人內地農家 實數	百分比
食費	三一、八〇	五〇、九	八五、六九	四九、〇	九一、三六三	五九、三
被服費	一〇、〇一	一六、〇	一四、七五	八、〇	一三、六四七	八、八
住居費	一、一七	一、七	八、四六	四、八	二、一八七	一、四
光熱費	五、六四	一五、五	一三、八五	七、九	二、六〇九	一、六
教育費	一、〇六	一、七	二八、〇六	一五、〇	二、四〇七	一、六
衛生費	〇、二六	〇、八	五、七三	三、三	四、九三一	三、三
交際費	五、四二	八、七	一四、一五	八、一	一七、三六五	一一、二
雜費	一三、三七	四、一	六、一一	三、五	一八、九三三	一三、三
合計	六三、四五	一〇〇、〇	一七四、八二	一〇〇、〇	一五四、五〇六	一〇〇、〇

卽

(一)日滿農家の家計費一戸當り比較大差なし

(二)平均一人當り生活費は滿人農家は平均十五人の家族員を包擁するに反し、南滿邦人農家は五人に過ぎない爲、可成り大きな差を示すこれ個人的には、邦人が滿人と伍して行けぬ理由である

(三)然し一戸當り耕地面積及收入を比較する時は即ち農家の經濟を問題とする限り家族成員及び一人當り生活費の大小は殆んど無關係である

次に日滿農家經濟の收支全般についての千葉氏のリポートによれば次表の如し

種目	南滿滿人農家(十戸平均) 一戸當	一反當	南滿日人農家(十戸平均) 一戸當	一反當	日本內地農家(百戸平均) 一戸當	一反當
耕地面積	六町二五		二一、三五		一、〇四	
投入固定資本(土地除外)	一九〇四	八三	六八三三	三二五、一九	二七九二、五三	二七〇、三五
農家總收入	一六三九	七〇	五二四〇、四〇	二四六、一五	一七九五、四六	一〇九、五四
農家經營費	七二四、七五	一〇、八二	三五九五、九〇	一六八、四〇	七一五、八二	四四、三三
差引企業益	八四四、八五	一三、二四	一七八六、六八	七、七八	一〇八七、七三	五六、一三
生活費	七〇二、六五	一〇、四〇	九九〇、六六	四、六五	九八一、五二六	五九、八五
差引剰餘金	一五二、二〇	二、八〇	七九八、〇二	三、一五	一〇六、〇七	五、六〇

東鐵改造の 滿洲國側提議

蘇國側本國へ請訓

(ハルピン卅日發國通) 中東鐵道組織の改造に關する滿洲國の提議を接受した蘇聯側は緊急首腦部會を開き案の内容に就き詳細に亘り審議研究した結果クズネツォフ副理事長はモスクワ政府交通人民委員會宛に長電を發して請訓した

大氣と氣溫

けふの天氣南西の風時々曇三十日の氣溫最高十八度九最低十度二一

可愛い人形使節

一行を迎へて互に樂しい交驩

日滿兒童が驛前廣場で

歡迎のプログラム決る

滿洲國建國一周年記念のプレゼントに日滿婦人協會から滿洲國へ贈られる大和人形の可愛いゝ親善使節松平明子さん副使川島悦子、坂本佐和子さんの一行はいよ／＼一日午前八時新京着の豫定である、この使節

〓一行〓を迎へて國都新京では日滿人相携へて至れり盡せりの大歡待を盡したいといふので滿洲國、軍部、滿鐵その他の各機關では幾日來これが滯京中のプログラムについて打合せ中であつたが此のほど漸く決定、滿鐵地方事務所關係についてのプログラムは大體左の通りである

一日午前八時着、これより先き新京驛前に日滿小學校兒童千三百名（日本人側五百名、滿洲人側八百名）集合、一行をプラットホームに出迎へ直ちに驛前廣場で歡迎會が催される、廣場正面に高台を設けて使節一行がその上に登り、先づ會は新京商業ブラスバンドの伴奏で君ケ代及び滿洲國々歌を

〓合唱〓終つて滿洲國代表および日本國側代表の可憐な歡迎の辭ありこれに對し使節一行代表答辭を述べ、それを新京公學堂兒童が通譯し一同萬歲を三唱して終了この間約三十分間の豫定で一行は滿鐵差廻しの自動車でまづ新京地方事務所に敬意を表して旅館滿鐵ホテルに入り一まづ休養、午後關東軍司令部

滿洲國文敎部その他を訪問し武藤元帥始め日滿要路にそれ／″＼挨拶を述べ第一日を終ることになつてゐるが一行は引續き滯京中溥儀執政始め各部總長に人形を贈呈しまた各方面の

〓歡迎〓に臨むはずで三日午後新京高等女學校において高女生及び新京聯合婦人會員のため團長松平女史の講演あり終つて同聯合婦人會主催の下に盛大なる歡迎茶話會を催すことになつた同一行は四日朝ハルピンへ向け出發、六日再び引返し同日午後四時半新京發第一日と同樣日滿人盛んな見送りのうちに奉天へ向ふ豫定である

使節一行顏觸れ

正使澁谷大向小學校一年生松平明子、副使日本橋十思小學校三年生川島悅子、同本鄕誠之小學校三年生坂本佐和子、成女高女四年生女學校代表西忠子

團長　日滿婦人協會理事長松平俊子、同協會理事中沖壽細川武子、同西尾好子、同伊藤晉文、副使節隨員川島平、坂本五十子、人形研究會々長山田德兵衞、昭和高女松平秘書森三子、日滿文化協會編輯部宇崎重七同幹事佐野修、庶務松谷昌武

四戸さんが晴れの代表に

室町校の六年生

日本側から歡迎の挨拶

別項人形使節一行來京の日驛前廣場において開催される歡迎會席上、日本側から使節一行に歡迎を述べる代表者を詮衡中のところいよ／＼室町小學校六年生四戸富貴子さん―在鄕軍人新京聯合分會長四戸友太郎氏令孃―に決定、また

〓通譯〓には新京公學校二年女生王英蓉さんが當ることになつた、この代表者の入選には學校側でも苦心し學校の成績は勿論容貌その他殊に少女のことでもあるので特に聲量にも重きを置いたものでその點においてお二人とも蓋し適役だとて光榮あるお鉢が廻つたものである

新京での日程

執政府其他を訪問

なほ新京に於ける日程は次の如くである

△六月一日

午前八、〇〇　新京驛着

同　八、一五　日滿兒童との交驩會

同　一〇、〇〇―一一、〇〇　執政府訪問執政閣下謁見

同　一一、〇〇―一、〇〇　武藤閣下、小磯參謀長訪問

午後　四、〇〇―六、〇〇　謝總長、宇佐美顧問、共同歡迎招待會（ヤマトホテル）

△六月二日

午前　一〇、〇〇―一一、〇〇　滿洲國學校側へ人形傳達式（文敎部講堂において）

午後　一一、〇〇―四、〇〇　南嶺見學

同　四、三〇―六、〇〇　振德婦女協會主催懇談會（國務院食堂において）

△六月三日

午前　八、〇〇―一一、〇〇　寬城子見學

午後　一、〇〇―四、〇〇　講演會並懇談會、主催、新京婦人聯合會、後援、滿鐵、文敎部、會與、新京高等女學校

△六月四日

午前　八、四〇―ハルピンへ向ふ

△六月六日

奉告祭のお寫眞が天覽の光榮に

新京海友會で感激

先に關東軍司令部廳舍新築敷地にかゝるため又都市計畫變更により市塵の及ぶところから夕陽ケ丘に移轉した海軍記念碑は海軍記念日の數日前にその移轉工事竣工奉告祭が行はれたが其當日寫された碑の奉告祭典等の寫眞三枚を特命喩閣使として來京された出光海軍少將の手許へ海友會から提出したところ同少將は非常によろこび早速調製中のアルバムに貼付し復命の際　聖上陛下の天覽に供せらるゝことゝなつた旨海友會幹部に通牒があり、新京海友會は無上の光榮に感激してゐる

駐滿部隊宛の郵便爲替證書

有效期間百二十日

〔東京三十日發國通〕郵便爲替證書の現行有效期間は證書發行の日より六十日を原則とし、例外として南洋群島所在の一便局拂渡しのものに限り百二十日と規定されてゐるが今回遞信省では滿洲駐屯部隊に屬する軍人軍屬宛のものに限り受取人の利便を計る爲め特に當分の間前記證書の有效期間を發行の日より百二十日とする旨三十日の官報を以つて關係省令公布し即日施行することゝなつた

山内氏ら執政府參入

日滿合辦通信會社設立委員長山内靜夫氏以下日本側委員は卅日午前九時半執政府に參入溥儀執政に謁見、御挨拶を申上げた後、執政より合辦會社設立に就て一同の勞をねぎらはれ、種々慰勞の言葉があり同十時退出直ちに總會に出席した

午後三、二五―ハルピンより新京着

同　四、三〇―奉天へ出發

雇人共謀で惡事

通譯費を失敬

新京城内永春路十五號竹下字治郎氏方雇人大經路十六號青島義チ（三二）西澤榮治の兩名は竹下氏方に雇はれ二十九日午後十二時ごろ疊製造原料の藥購入の通譯費現金二百九十圓を横領行方を晦したので取押方を新京署に屆出た

豪華版、大連博を語る

一通り見ておよそ二十里の行程

高田大連商議會頭に聽く

七月二十三日より大連において開催される滿洲國建國記念大連博覽會の斡旋機關である協産會々長として今回の大連博に非常に貢献しつゝある大連商工會議所

〓會頭〓高田友吉氏は二十九日新任の書記長長永氏紹介の爲同道したが氏は大連博につき次の如く語つた

大連博の人氣は素晴らしいもので、申込殺到し出品物は收容出來ない位だ昨日本館の上棟式を行つたが官民多數參加し非常な賑はひであつたこの外各部市の特設館中京都館等はすつと以前上棟式を終つた、會場の面積は三十萬坪この中建物は六萬坪を占め、主要建物の本館、迎賓館、演藝館、水族館、子供館、滿洲國館、滿鐵館、關東廳館、各主要都市の

〓特設〓館二十餘館を始め賣店喫茶店等がずらつと建ち並び規模の廣大な近代美術の豪華版を誇るに足る堂々たるもので各館を一通り見て廻ると全行程約二十里フルスピードで見ても二日はかゝるわけだ、協産會の仕事としては船舶、宿屋、市中見物用自動車、列車等につき見物人の世話をする事となつてゐるがなかく忙しいこの間日滿實業大懇談會日本新聞記者協會第二十一回大會を開催する筈だ

實業大懇談會には日本より

〓商工〓會議所を中心とした約百二十名の權威者が出席する關東軍からも小磯參謀長の出席を御願ひしてゐる處だ兎に角博覽會の開館中は大連を中心として全滿に亘り空前の賑はひを呈するであらう

輸入組合家族會

六月一日午前九時より西公園海軍記念碑前夕陽ケ丘で新京輸入組合家族會では運動會を開催四百六十名の競技者が出場、百米、二百米の短距離より初められ四十六の競技種目があり殊に呼物の最後の部門リレーは一般より興味を以て見られてゐる

表戸を破り空巢が這入る

岩名科長の災難

三笠町一丁目二十二番の二執政府庶務科長岩名幸基氏方家人不在中表戸の硝子を破壞し内部から錠を取り怪盜が侵入貴金屬衣類を窃取してゐるを巡邏中の新京署員が二十九日午後發見した

眼と耳から村落民衆教育

巡回映畫と講演班

文敎部社會教育科で組織

各省の治安平定を見たる今日各縣よりの希望に依り文敎部社會教育科に於ては民衆教育の爲め、巡回映畫並講演班を組織し、映畫には滿洲國建設の歷史的記錄映畫、滿洲國の全貌を中心に寫眞並日本文化紹介映畫其の他興味ある漫畫數卷を取り入れ夜間開催晝は數回に渡り王道國家建設の主旨に關する講演會を開催し文化に浴せざる一般民衆に眼と耳からの敎育を六月十日より卅六日間の豫定で次の日程に於て行ふ事になつた講演講師は二名にして文敎部より南霽光氏決定し孔學會より一名派遣される事になり目下奉天敎育廳長並周孔學會幹事長との間にて人選中である

范家屯　一日　公主嶺南河　一日　懷德城内　二日　洮南　二日　齊々哈爾　一日　三甲喇子　一日　齊々哈屯　一日　上號鎭　一日傳家甸　二日　双城縣城内　二日　吉林城内　二日　盤石城内　二日　海龍城内　二日　清源城内　二日　撫順城内　二日

滿洲國の監獄設備近く改造せん

未決囚脫獄事件が動機で

馮總長院議で力說

二十八日夜の新京に於ける未決囚脫獄事件は二十九日の國務院會議の問題となり會議出席者間に種々意見が交はされたが、司法部總長馮涵淸氏は

「首都新京に於ける斯の如き脫獄事件は建國以來最初の事にして誠に遺憾至極である」と冒頭し、脫獄の原因として一、監獄設備の不完全二、監獄職員の不足の實情を詳細具體的に報告し、設備の改善、人員の敎育とその增加が緊急必要である旨述べた、馮總長の報告あつて後院議列席の總長、院長間に種々意見が交はされたが何れも司法總長の意見を諒としたので近く滿洲國監獄設備制度の改善問題が具體化するものと見られる

ボール大會人氣益々募る

機關區對保安區の接戰

滿鐵社員春季ボール大會リーグ戰も去る二十五日西廣場對公學堂によつて開戰以來、日を重ねるにつれ興味は次第に募つて、人氣を集めてゐるが二十九日機關區對保安區のは最初から好ゲーム續出、双方技倆伯中して最後まで接戰また接戰を演じ觀衆を熱狂せしめた結局機關區三對二で勝つ

河野部長一行

會計檢查院河野部長以下一行五名は三十日午前十一時飛行機でハルピンから來京した

田邊貞造氏

北日本汽船專務

本社に挨拶

北日本汽船株式會社專務田邊貞造氏は社員飯田利信氏同伴三十日來京國都ホテルに投宿同業大阪商船株式會社新京事務所主任村井弘光氏同道で本社へ挨拶に來訪した

軍國讀本

◇……海軍編……◇

海の猛虎

驅逐艦の話

……（二十）……

〓現今〓は驅逐水雷艇があるのみで單獨の水雷艇は無くなつたが、以前水雷艇のやつた仕事、つまりひそかに敵艦に近づいて行つて敵艦を擊沈すると云ふ任務を擔つて水雷艇に取つて代つたのが此驅逐艦である、日淸戰爭の頃には小鷹と云ふ水雷艇が一番大きくて百八十一噸、あとは皆五十四噸位の至極小さなものであつた。が餘りに小さいと波に弱く

〓照準〓にも關係する、天候が惡いと速力も出ず艇自身の安否にも關はる、そこで日淸戰爭後、叢雲、東雲、不知火、夕霧の三百二十二噸級、雷、電、曙、漣、三百四十一噸級の計八隻を造る事にして英國に注文し、明治三十一年十二月に日本最初の驅逐艦『叢雲』速力三十節、が出來た。然し依然として水雷艇の必要を感じて軍艦一等艇（一三七噸）十六隻、三等艇

〓二等〓艇三十七隻、其他計六十三隻（五三噸）十隻、を造つたのである。その後艦艇の改良發達に伴つて稱呼も驅逐艦と改められ、明治卅六年には春雨（三七五噸）以下の驅逐艦が日本の海軍工廠で建造せられ、日露戰爭には存分にその能力を發揮した。

水雷艇は明治三十七年の鷗、鴨を最後として建造を中止したが三四百噸の驅逐艦では偵思はしくないので

〓大洋〓にも充分活躍の出來る大型を欲し日本最初の大型驅逐艦『海風』排水量一千百五十噸が明治四十四年九月二十八日、舞鶴工廠で竣工山風が同年十月二十一日長崎三菱造船所で竣工した。それから艦型が次第に增大して二千噸にも成つて來た。我海軍に於いても特型驅逐艦と呼ばれてゐる初雪級十六隻は、公稱速力三十四節、一二、七糎砲六門、五十三糎の發射管三聯裝三基、排水量一千八百五十

〓水雷〓噸と云ふ優勢なものである驅逐艦の任務とする所はその快速力に任せて敵軍を襲擊し、魚雷攻擊、驅逐艦、潛水艦の擊沈、機雷の掃海もし、偵察見張にも使はれると云ふ萬能艦種である、殊に特型等になるとその戰鬪力に於て輕巡等と何等遜色の無い戰鬪力がある。

（圖は最新特型驅逐艦）

滿鐵運動會の參加千四百名

競技種目等も決定

新京の年中行事、滿鐵大運動會はいよ／＼來月四日午前八時三十分から西公園グラウンドで競技を開始、同四時終了の豫定であるが、參加人員千四百餘名、プログラムは大体左の順序で行はれる

八百米、戴嚢スプン、百米提燈、卵掴、二百米、五色吹流、パン食、抽籤、四百米、卵掴、提燈、ボートレース、卵掴、戴嚢スプン、重荷競走、パン食、抽籤、百米、四十歲以上百米、二百米、女子提灯、重荷競走、五色吹流、八百米繼走、千五百米、四十歲以上戴嚢スプンパン食、百米、ボートレース提灯、二百米、四百米、五色吹流、抽籤、四十歲以上提灯、卵掴、九色吹流、戴嚢スプン、千六百米繼走五千米技などもあるはず

この間各學校兒童競技來賓競

四平街より

六月四日擧行の四平街大運動會における責任競技及び一般競技は協議決定したが進んで選手の出場を望む責任競技種目は左の通り

（1）百米競走…選手二名

（2）二百米競走…同二名

（3）四百米競走…同二名

（4）八百米競走…同二名

（5）千五百米競走…同二名

（6）八百米リレー同四名

（7）綱引……二十六名宛の選手を出しトーナメント式により順位を決定

（8）大球送りリレー……選手は一組十名づゝ

（9）提燈競走…選手二名

（10）步度制限競走…選手二名

吉凶禍福

△新京住吉町一丁目八永井守一氏二男淳、十八日出生

日満交歓 優良商品推奨

日松社製